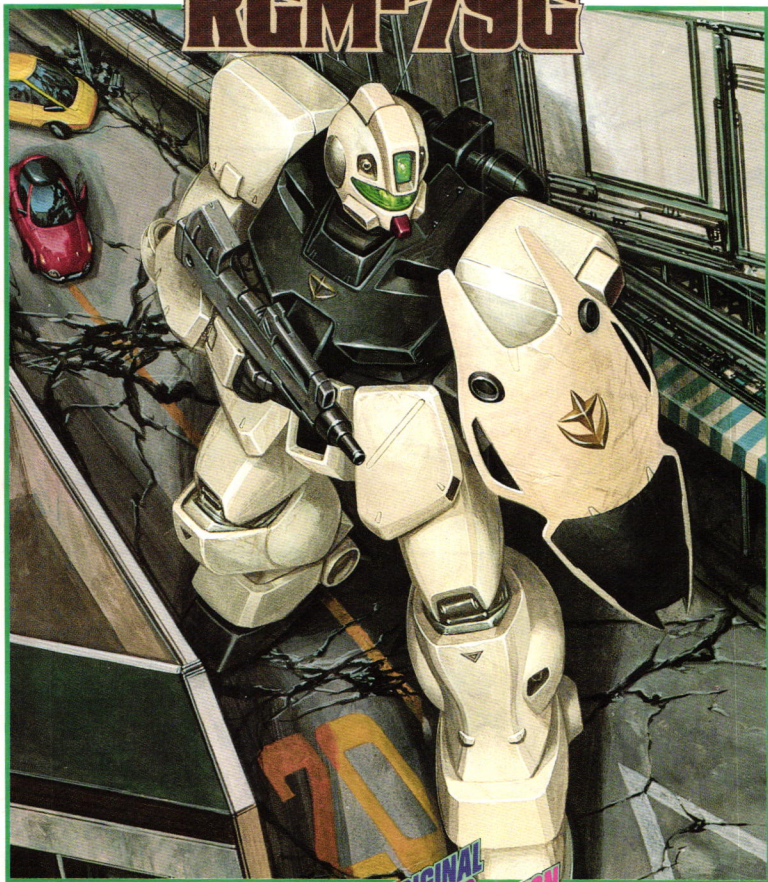


GM-COMMAND RGM-79G



機動戦士 **ガンダム0080**
MOBILE SUIT
GUNDAM 0080

ポケットの中の戦争

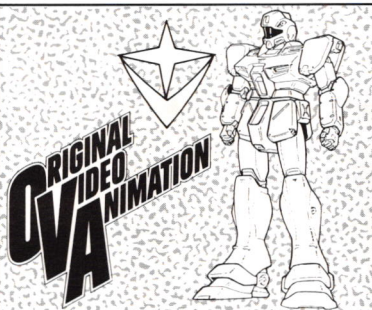
©創通エージェンシー・サンライズ

ORIGINAL
VIDEO
ANIMATION

2

1/144 RGM-79G「ジム・コマンド」

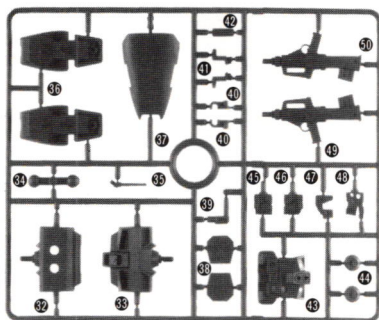
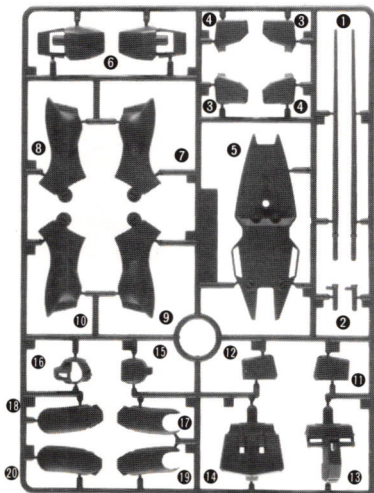
BAN
DAI



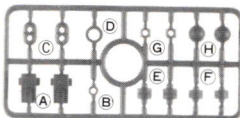
組み立てる時の注意

- この商品は、接着剤を使わずに組み立てられるスナップフィットモデルです。
- 組み立てる前に説明図をよく読みましょう。
- 部品は、番号をたしかめ、ニッパーなどできれいに切りとりましょう。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。

〈パーツリスト〉



〈ポリキャップ部品〉



●シール…1

部品をこわしたり、なくした人には実費にて部品をおわけします。「部品注文カード」に必要な部品の番号・数量をはっきり書いて切り取り、部品代金(部品代+当社からの郵送料を郵便為替(料金の安い定額小為替も可))で右記の当社お客様相談センターまでお申し込みください。部品代は、1個40円です。(郵送料は120円です)郵便為替は、この部品代金の他に、為替料金が

加わりますので、くわしくはお近くの郵便局でおたずねください。部品数が多くて、郵送料が120円をこえる時は不足分を請求させていただきます。120円以下の時は、残額をお返します。お送りする部品の形状・数量により郵送料が変わります。もし部品に不良がございましたら、その部品を切り取り、部品名を書いて当社までお送りください。良品と交換させていただきます。

■申し込み先
静岡県清水市西久保305 千424
株バンダイ静岡工場お客様相談センター
部品係 TEL 0543-65-5315

部品注文カード 89/4-500

O・V・A 1/144 ジム・コマンド

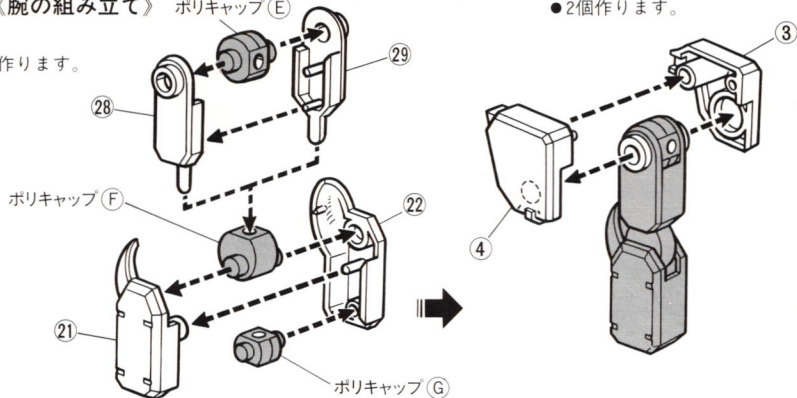
必要な部品の番号・数量をかく

●部品の注文は「郵便為替」(定額小為替でも可)でお申し込みください。

1 《腕の組み立て》 ポリキャップ(E)

●2個作ります。

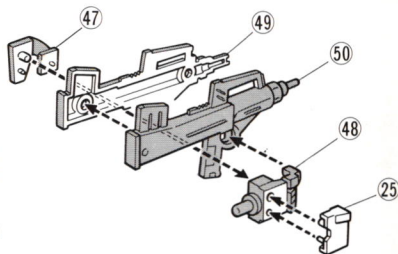
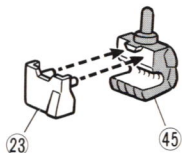
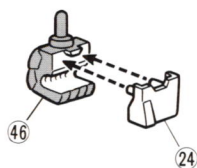
●2個作ります。



2 《手の組み立て》

《左手》

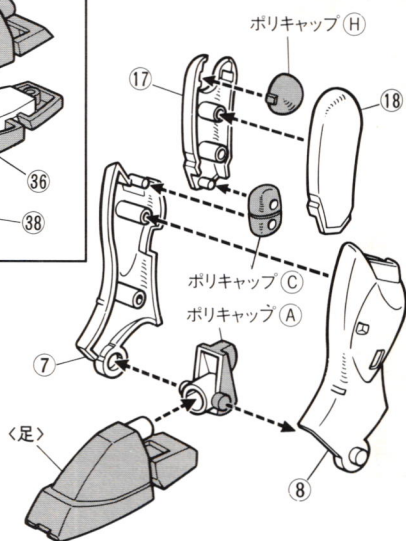
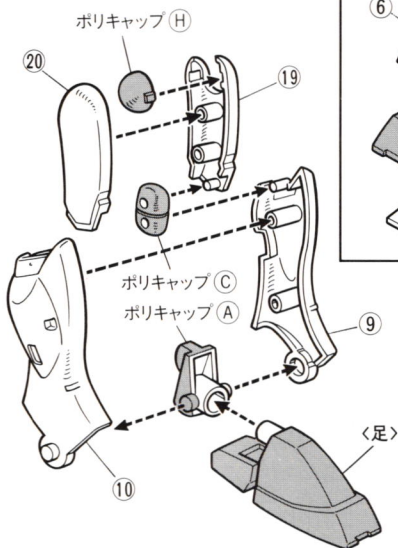
《右手》



3 《右脚の組み立て》

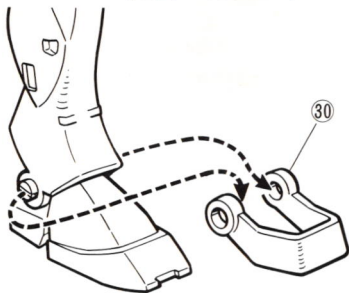
《足》 ●2個作ります。

4 《左脚の組み立て》



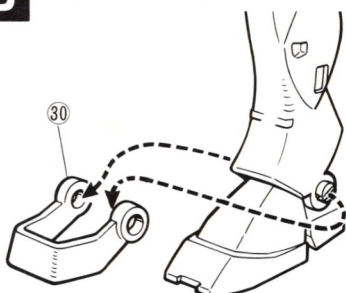
5

《右脚の組み立て》



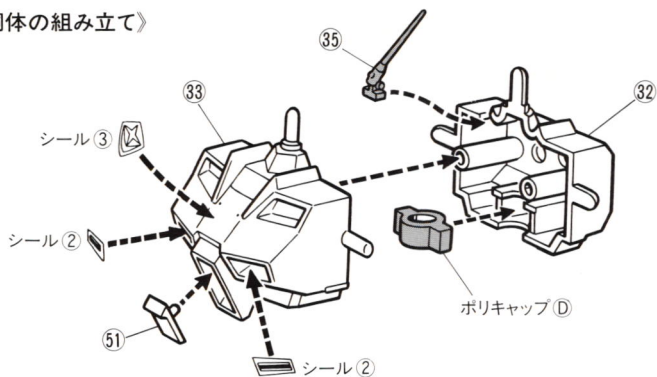
6

《左脚の組み立て》



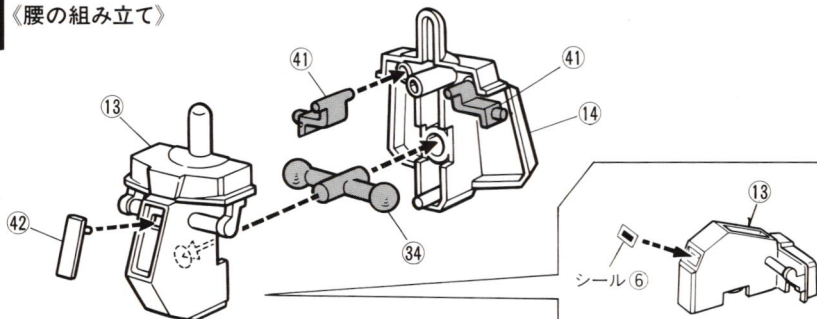
7

《胴体の組み立て》



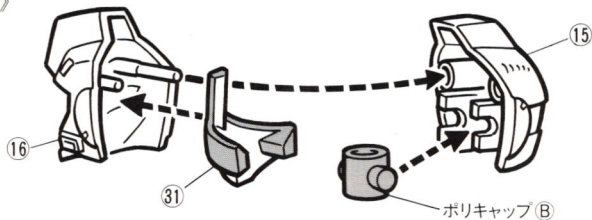
8

《腰の組み立て》

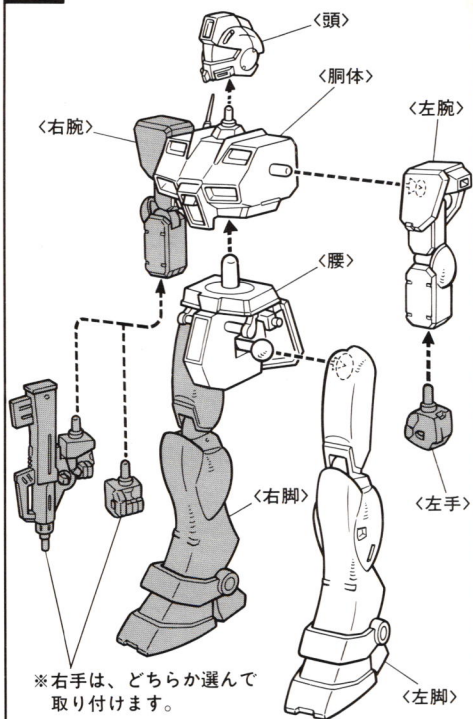


9

《頭の組み立て》



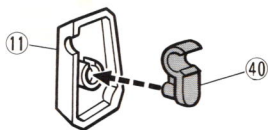
10



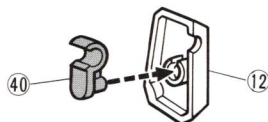
11

《ウェストアーマーの組み立て》

右

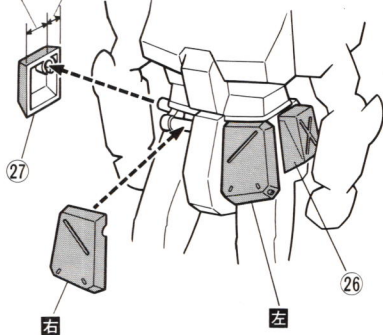


左



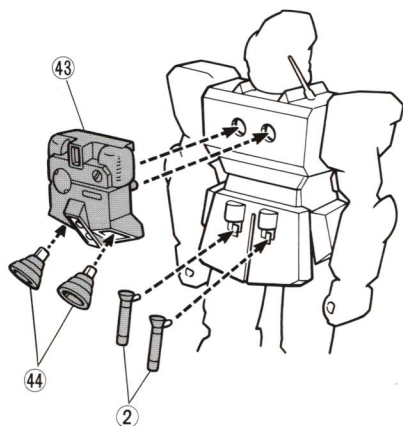
※ひろい方が前側です。

ひろい せまい



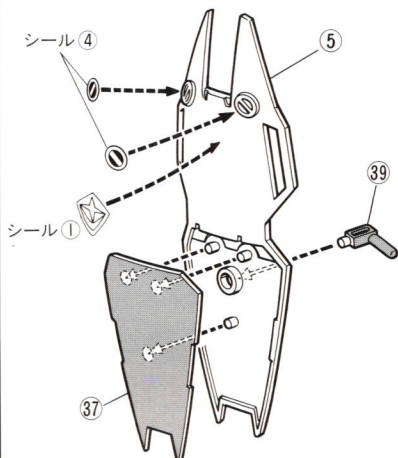
12

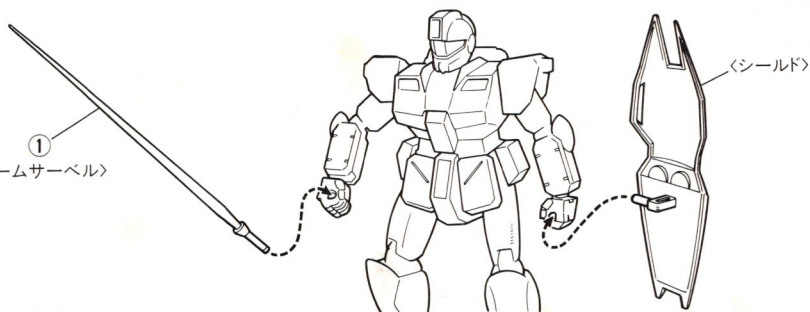
《バックパックの取り付け》



13

《シールドの組み立て》



①
〈ビームサーベル〉

PAINTING GUIDE

- 5色成形だから、めんどろな塗り分けはいりません。塗装しなくても、設定色のイメージの組み上りを楽しめます。
- もし全体塗装をしたい時は、右の写真を参考にしてください。塗料は、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- このジムコマンドは、腰、脚、腕の各関節部がフリー可動になっていますので思いのままのポーズがとれます。

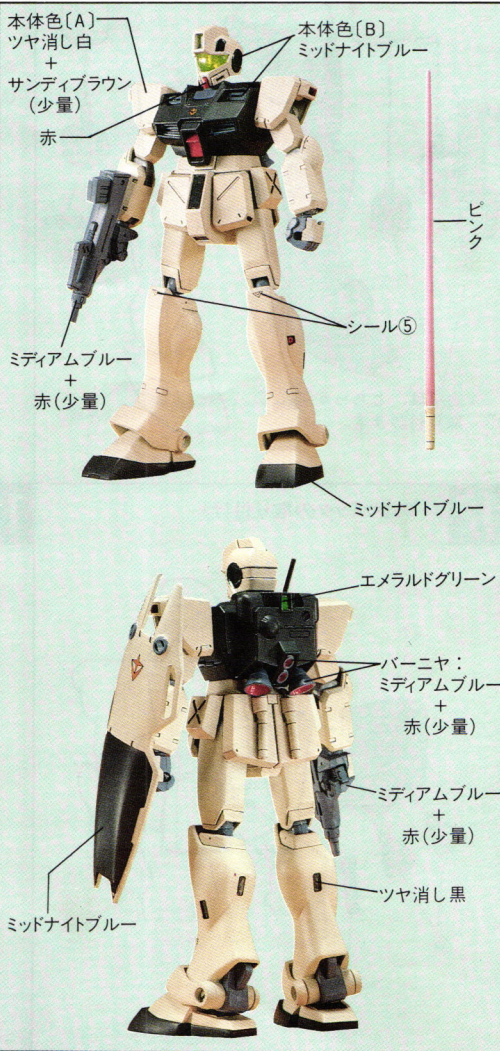


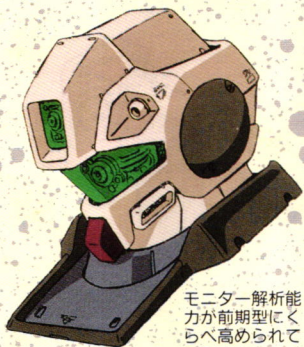
おたよりを
くださーい。

長谷川先生の描いた箱絵、増尾先生の描いた説明図のイラストは、どうでしたか？キットの作りはどうでしたか？皆さんからの、たくさんのご意見、ご希望をおまちしています。

送り先：静岡県清水市袖師702 丁424

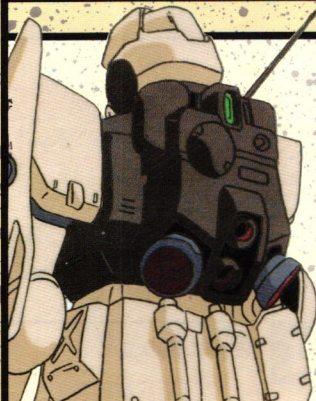
株バンダイ静岡工場 商品開発室





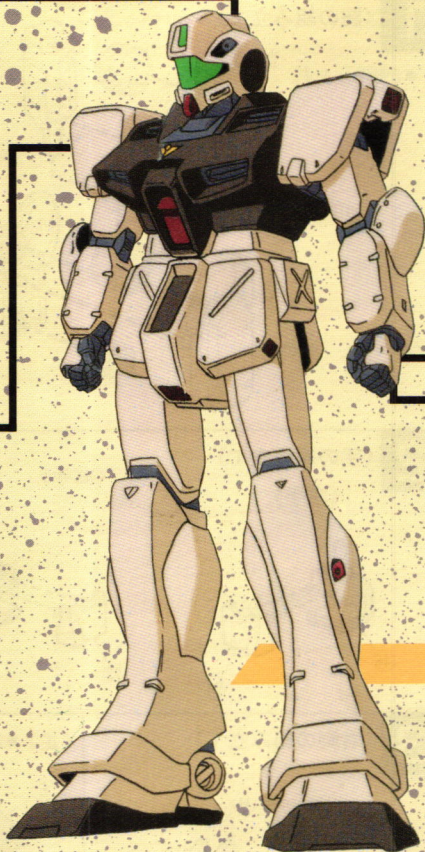
モニター解析能力が前期型にくらべ高められている。

HEAD



スラスタース推力はノーマルのものよりパワーアップされている。また、レーザー通信用アンテナを装備している。

BACK PACK



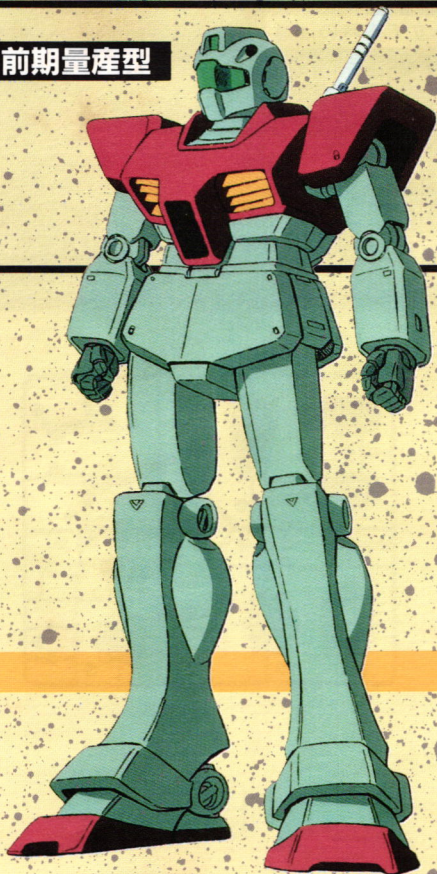
配備状況

このRGM-79Gは、一年戦争末期に開発された全面改修後の局地戦用の機体である。改修後の機体は、他にも様々な地域に補充用として配備されたため、各部隊での機体数は少なかったが、生産台数はかなりの数に昇る。特にこの機体は、主戦場を除く地域に配備されるケースが多く見受けられる。RGM-79D、G系の機体は主に、各コロニーの防衛用として中立勢力を含むコロニーの港湾警備、コロニーの整備、補修にも用いられたほか、北、南極等の寒冷地や戦略上重要でないとする僻地の通信施設の防衛などのために配備されている。

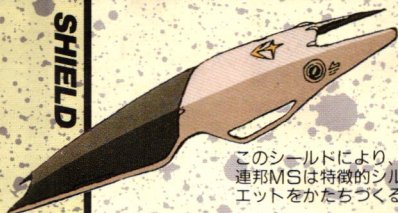
RGM-79G GM-COM

一年戦争開始のとき、ジオン軍がくりだした新型機動兵器、MS(モビルスーツ)に、連邦軍は大敗を喫する。それまで独自の機動兵器開発に消極的だった連邦軍首脳部も、新兵器開発を急がざるを得なくなる。起死回生をはかり、連邦軍のV作戦は発動した。大戦前よりある程度、基礎技術開発が進められていたので、開戦後7か月目にはRXナンバーコードの開発機完成第1号機がロールアウトする。脱出システムを兼ねたコア・ブロックシステムの導入、装甲材への新素材(ガンダリウム合金)使用など、数々の新技術が試された開発機であったが、逆にそれがあたどりにかなりコスト高なものになってしまった。そこで、量産機となるRGM系列では、コストをいかに低く抑え、生産性を高めるかが問題となった。そのため、能力的には開発機にくらべ低いものになったが、実戦運用機の実動データがフィードバックされ練度が低いパイロット

前期量産型

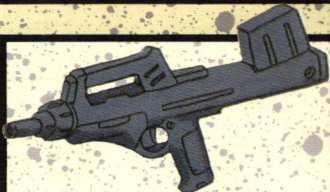


SHIELD

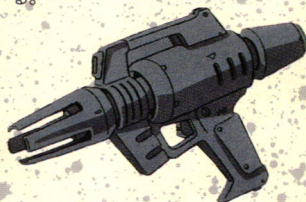


このシールドにより、連邦MSは特徴的のシールドをかたづくる。

WEAPON



ビームタイプではなく通常弾薬使用のマシンガンも兵装として用意されている。



ビームスプレーガン。パワーは低いが連射性は高い。



GMコマンドは腰部にサーベルを2本装備している。

地球連邦軍汎用量産型モビルスーツ

MMAND

トでも扱いやすいトータルバランスの良い機体となった。また、RGM系列はジオン軍のザク系列に匹敵するぐらいの各種特強仕様が生み出された機体でもある。RGM-79Gは、次期量産機のデータを得るために、装甲形状の改良、ジェネレータのチューンナップを施した機体である。完成したのが、停戦まぎわだったので実戦参加記録は少ないが、この機体から得られたデータが、一年戦争後の連邦軍量産機に生かされた。

RGM-79G SPEC

●全高/18.0m ●本体重量/43.5t ●全備重量/56.4t ●スラスト・推力/26,500kg×2、7,000kg×2 ●アポジモーター数/10 ●武装/60mmバルカン砲×2、マシンガン、ビームサーベル×2

用語事典

メガ粒子砲

この世界のビーム兵器の主流を占めている。開戦当初は、ユニット自体が大型で、宇宙艦艇の主砲としてのみ用いられていたが、RX-78と同時に開発されたものからは小型化され、モビルスーツにも装備が可能となった。この兵器の威力は絶大だが、その反面、エネルギーの消費が激しいため、在来砲のような連射は不可能である。また、一度炉の出力を落とすと、砲の再射撃が可能になるまで時間がかかるという欠点がある。だが、エネルギーCAPを採用したビームライフルではその欠点が補われつつある。